

ふっさ市議会だより

No.225 令和3年7月25日
発行／福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



Twitter



Facebook



▲市内小学校のビオトープにゲンジボタルの幼虫を放流する児童の様子

令和3年第2回定例会
6月1日～18日

新型コロナウイルス感染症対策 を含む補正予算等を可決

令和3年度一般会計補正予算の概要

新型コロナウイルス感染症対策等を盛り込んだ補正予算について審議し、それぞれ全会一致で可決されました。

一般会計補正予算(第2号) 補正額 4,506万5千円

- 主な事業
- 新型コロナウイルスワクチン個別接種事務委託料 (3,437万7千円)
 - 接種看護師会計年度任用職員報酬 (1,065万6千円)

一般会計補正予算(第3号) 補正額 1億8,702万5千円

- 主な事業
- 保育園・幼稚園等の衛生対策に係る新型コロナウイルス感染症対策事業補助金等 (2,445万6千円)
 - 公共施設等無線LAN整備委託料 (2,078万5千円)
 - テレワーク推進等を図る庶務事務システム等導入委託料 (3,347万3千円)

一般会計補正予算(第4号) 補正額 11億2,764万4千円

- 主な事業
- 生活困窮者自立支援事業 (5,719万1千円)
 - 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 (6,217万3千円)
 - 接種体制の追加等に伴う新型コロナウイルスワクチン接種事業 (9億104万1千円)
 - プレミアム付商品券事業 (1億722万8千円)

令和3年第2回定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、6月1日から18日までの会期18日間で開催されました。

条例の一部改正、新型コロナウイルス感染症対策を含む補正予算など、市長提出議案10件、委員会提出議案1件が審議されました。

また、16名の議員による一般質問が行われました。新たに提出された陳情2件は継続審査となり、継続審査となっていた陳情1件は採択となりました。

14日	▼7月	議会運営委員会	11日	横田基地対策特別委員会	8日	建設環境委員会	4日	第2回定例会4日目	▼5月	25日	議会運営委員会
		議会運営委員会	10日	総務文教委員会	9日	市民厚生委員会	3日	第2回定例会3日目			
		全員協議会	15日	新型コロナウイルス感染症対策特別委員会	8日	建設環境委員会	2日	第2回定例会2日目			
		第2回定例会5日目			4日	建設環境委員会	1日	第2回定例会1日目			

◆会議の開催状況と審議日程◆

◆ 主な内容 ◆	
◆一般質問(要旨)……	2～5面
◆議案の審議結果……	6面
◆可決等された案件……	6～7面
◆委員会の審査……	7～8面
◆特別委員会活動……	8面



一般質問（要旨）

「市政のここを問う」



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は8月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。

新型コロナウイルスワクチン接種受付について



正和会
杉山 行男 議員



質問 新型コロナウイルスワクチン接種の受付状況を伺う。

市長 4月28日、75歳以上の高齢者接種の予約受付を電話受付のみで実施。開始30分で予定件数に達し、受付を終了した。5月7日にはウェブでの受付を追加したが、アクセス集中により接続しにくい状態が続き、翌日に予定件数に到達。3回目の同19日からは重症化リスクの高い85歳

以上の方を先行して受け付け、翌20日は75歳以上の方の受付を行った。市民の皆様にはご不便をおかけし、大変申し訳ない。希望される方に一日も早くワクチン接種が行き届くよう、取り組んでまいります。

質問 電話での予約受付は有料のナビダイヤル0570だが、電話料金の負担にも配慮が必要と考える。フリーダイヤルを追加導入することはで

きないか伺う。

福祉保健部参事 当初、市民へご案内する時間的余裕がないため、フリーダイヤルよりも設置時間を要しない有料ナビダイヤルを採用した。既に広報やホームページ等で周知しており、新たにフリーダイヤルを加えると混乱が生じるおそれがあるほか、総合的な判断の上、引き続きナビダイヤルでの運用を考えている。



▲福生市新型コロナウイルスワクチン接種専用予約サイト画面

新型コロナウイルスワクチン接種について



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 医療従事者、高齢者の施設入居者、介護職員等の現在における新型コロナウイルスワクチンの接種状況を伺う。

市長 市内の医療従事者等については、当初は都が接種の実施体制を構築し、実施することとなっていたが、個別の医療機関だけでは進まないため、医師会の強い要望で4月28日から5月12日のうち4日間、市の

集団接種会場で実施した。2回目の接種はそれぞれ3週間後に同会場で実施。高齢者施設等の入居者や従事者については、4月末よりワクチンの必要数を確認し、5月から一部の施設で1回目の接種を実施した。

質問 高齢者の施設入居者等の接種希望者数及び1回目の接種終了者数、また介護職員のワクチン接種対応について伺う。

福祉保健部参事 高齢者施設等の入所者等の接種希望者は5月末日時点で979名、1回目の接種終了者は719名だった。高齢者施設等従事者のワクチン接種については、高齢者施設等でのクラスター発生防止の観点から、入所者の接種を優先した上で、本人の同意に基づき、入所者と併せて接種していただく機会を設けている。



外国にルーツを持つ子どもに係る取組について



公明党
青木 健 議員



質問 外国にルーツを持つ子どもの就学前における日本語教育（プレスクール等）について所見を伺う。

市長 本市は外国人比率が高いが、日本語や日本の文化等を学ぶ機会は幼稚園や保育所等で十分に確保されているため、積極的にプレスクールを検討している状況ではない。しかし、子どもたちが幼稚園や保育所等を経ずに小学校に入学することは、日本

語等を学ぶ機会が失われ、学習などに支障をきたすことが懸念されるため、特に未就学児童がいる家庭については早い段階で幼稚園や保育所等に入ることができるよう、今後も引き続き関係部署が連携し取り組む。

小・中学校における対応について

質問 外国籍等の児童・生徒の受け入れ体制や生活・学習面等の支援策を伺う。

教育長 現在、第一小学校、第二中学校に日本語学級を設置し、日常生活を営むうえで必要な「生活言語能力」と、学校での学習に必要な「学習言語能力」を身につけるための指導を行っている。今後も言語や生活習慣の違いを乗り越え、学校生活にスムーズに適応することで学力を高め、自己実現を図ることができるよう、指導、支援を継続していく。



▲日本語指導に関する教材「東京の学校生活」東京都教育委員会HPより

五日市街道（武蔵野橋北詰から熊川武蔵野交差点付近）の渋滞解消について



公明党
堀 雄一郎 議員



質問 拡幅工事の間、武蔵野橋北交差点を暫定的に改良できないか。

市長 関係機関の見解では、市道第72号線との交差点が接近しており、暫定的改良では渋滞の解消は極めて難しいとのことで、抜本的な解決方法は五日市街道の拡幅と考える。

質問 砂川踏切から武蔵野橋北交差点までの間を暫定的に2車線化して車両の流入量を増やし、渋滞改善

につなげるよう要望いただけないか。

都市建設部長 用地取得後、暫定的に下りを片側2車線化できれば交差点付近の渋滞の改善が考えられる。東京都西多摩建設事務所に要望するとともに、今後も拡幅事業が円滑に進むよう関係機関と連携を図りたい。

ヤングケアラー支援について

質問 病気や障害のある家族の世話をしている子供たち、ヤングケアラー

支援について本市の取り組みを伺う。

市長 国は施策として社会的認知度の向上を示していることから、今後、関係機関向けの研修や講演会の開催、子供自身がヤングケアラーであることに気づき、相談窓口があることの周知に努める。また、関係機関等には子供を介護の担い手として見ないことや、家族背景にも目を配るよう働きかけたい。



▲武蔵野橋北交差点付近の様子

公立福生病院等での新型コロナウイルスワクチン接種について



正和会
小林 貢 議員



質問 6月から集団接種と医療機関での個別接種が始まるが、公立福生病院等での接種について伺う。

市長 個別接種は、まずは公立福生病院で6月10日から実施し、その他の医療機関も体制が整い次第実施できるよう調整している。副反応への懸念等でかかりつけ医による接種を希望する声もあることから、市内の医療機関での個別接種を円滑に実

施するため、適切な支援を行う。

福生第七小学校南側の五日市街道について

質問 福生第七小学校南側の五日市街道は、カーブの坂道で歩道幅が狭い。また、法務局入口交差点上には歩道橋があるが、昇り降りが難しい高齢者等は利用ができず、横断歩道のない東西方向への横断が見られる。五日市街道、田園通りでの交通安全対策の取り組みを伺う。

市長 当該箇所は平成24年度の緊急合同点検の結果を受け、ガードパイプの延長と転落防止策が設置された。さらに車道への自転車ナビマークの設置や車両の速度を抑制するカラー舗装等、安全対策と事故防止に努めていただいている。横断歩道のない箇所の横断は、都や福生警察署に対策を要望し、市としても高齢者の交通安全意識の啓発活動に努める。



▲福生七小南側の五日市街道と歩道橋

児童発達支援について



正和会
武藤 政義 議員



質問 発達に課題がある子どもへの本市の具体的な支援について伺う。

市長 健康課で実施する3歳児健康診査等で発達に課題があると思われる場合、心理相談を経て、月に1回実施している乳幼児発達健康診査につないでいる。子育て世代包括支援センター系では、臨床心理士等が定期的に保育園等の巡回相談を実施。保護者との面談を通じ、子どもの発

達の理解を深めていく中で、保護者が希望した場合は児童発達支援事業を案内している。児童発達支援事業所では、日常生活の基本的動作の習得など個別療養プログラムを提供。地域の中で健やかに育ち、能力や個性を伸ばせるよう努めている。

道徳教育について

質問 新教育長の着任により、教育委員会がどのような道徳教育を推

進していくのかを伺う。

教育長 子どもたち一人ひとりが生命尊重や思いやりなど、道徳的価値に関わる狙いに照らし、自分の生き方の中にある内面的な課題について深く感じたり、考える授業を推進していく。道徳授業地区公開講座も継続し、学校・教職員が保護者・地域の皆様と協働して子どもたちの道徳性を育てていきたい。



▲教職員向け指導資料「道徳科校内研修ノート」表紙

福生駅西口地区公共施設整備と運営について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 5月に福生駅西口地区公共施設整備実施計画が策定された。本施設の整備・運営の考え方を伺う。

市長 整備は準備組合の提案を市が策定する都市計画に反映させつつ、再開発事業の一環として進める。施設の設計、施工は準備組合が選定した特定業務代行者等が行い、整備後の施設、建物を市が取得する予定。将来、運営を担う指定管理者交渉者

と特定業務代行者は準備組合が選定する。市は選定に参画するほか、選定後は指定管理者交渉者の提案を基に運営内容を検討、基本設計等に反映させて施設整備を行い、整備後はモニタリング等を通じ内容の向上に努め、整備から運営まで関与する。

質問 事業者から良い提案を受けても、施設整備の予算とのすり合わせは難しいのではないかと

企画財政部長 運営内容の協議結果の反映は、予算規模に留意し行う必要がある。予算規模は、現時点で福生駅西口地区公共施設整備実施計画で見込んだ概算事業費である。準備組合から今年10月を目途に市が取得時に支払う負担金の概算が提示される予定で、精査の上、市、準備組合及び事業者が共有することで過度な財政負担にならないよう努める。



▲福生駅西口地区公共施設整備実施計画に掲載された整備のイメージ

ウォーカブルなまちづくりについて



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 国土交通省はウォーカブルな（歩ける）まちづくりとして、都市再生特別措置法（ウォーカブル推進法）と道路法の歩行者利便増進道路制度（ほこみち制度）の改正を行ったが、本市での取り組みを伺う。

市長 本市のコンパクトさを生かすため、都市計画マスタープランで歩行者中心のまちづくりを掲げており、令和元年10月に国土交通省のウ

ォーカブル推進都市となった。取り組みには福生駅西口の再開発事業や東口の富士見通り線の拡幅に合わせた歩道整備による回遊性向上等の計画がある。現在策定中の新たなマスタープランにもウォーカブルなまちづくりの推進を盛り込んでいる。

質問 ほこみち制度とウォーカブル推進法のまちなかウォーカブル区域を併用すると相乗効果が大きいと

いうが、その具体的内容を伺う。

都市建設部長 道路の占用基準、期間の緩和、都市再生推進法人による手続面のサポート等で道路空間の活用が行いやすくなり、民間によるオープンスペースが提供されるなど、まちの活性化に合わせ歩行者の利便性や安全性の確保などが期待できるが、事業推進には歩道の有効幅員の確保や地域の協力など、課題も多い。



▲占用特例許可による道路の利活用の一例

新型コロナワクチンの接種について



公明党
原田 剛 議員



質問 医療従事者、高齢者施設、65歳以上の高齢者の接種状況と7月までの高齢者の接種見込みを伺う。

市長 医療従事者等への接種は、6月2日までに2回目完了。高齢者は75歳以上の方の接種を5月8日から開始、31日までに2609名に1回目を実施。高齢者施設等は5月12日より順次開始。高齢者の接種は希望者が7月末までに2回分を終えられ

る体制を構築する。

温室効果ガス2050年実質ゼロについて

質問 2050年までの排出実質ゼロ達成への市の取り組みについて伺う。

市長 平成15年度に策定した福生市環境基本計画に基づき、福生市地域新エネルギービジョン及び詳細ビジョンにより削減目標を掲げ、市独自の環境マネジメントシステムF-

eの取り組みにより、CO₂排出量の削減目標に向けて市民監査委員と共に推進している。さらに現在開催中の環境フェスティバルを契機に、一般家庭や市内事業者への働きかけを一層促進する。令和4年度から2か年で実施する環境基本計画の見直しの中で、国や都の脱炭素に関する動向を踏まえ本市の取り組みを考えていく必要がある。



▲6月に開催したふっさ環境フェスティバルのポスターとステッカー

「ふっさっ子スタンダード」について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 市立小・中学校ではふっさっ子スタンダードをどのように指導しているか。また、環境の変化などに対応した見直しも必要ではないか。

教育長 毎年、小・中学校の入学式当日に、ふっさっ子スタンダードを印刷した下敷きやクリアファイルを新入生に配布。また、ポスターを各校の教室に掲示。全小・中学校が家庭・地域の方々とふっさっ子スタ

ンダードの内容を共有して継続的に取り組んだことで、児童・生徒に望ましい生活習慣が確立され、学力向上に結びついたと考える。一方で、策定から7年が経過し、児童・生徒の学び方や生活は大きく変わりつつある。今後、学校や家庭、地域の方々のご意見を踏まえて改定したい。

質問 改定に対する視点について、またその際の手順について伺う。

教育部参事 コロナ禍で身につけた学校の新しい生活様式と、iPad配布に伴う児童・生徒の情報活用能力の二点を主眼とする。改定の手順は、現行のふっさっ子スタンダードへの意見を関係者から令和3年9月までにいただき、それを基に10月末を目途に原案を作成、12月に教育委員会で審議、決定し、令和4年1月に改定版を示していきたい。



▲ふっさっ子スタンダードの下敷きとクリアファイル

教職員の1年単位の变形労働時間制について



日本共産党
池田 公三 議員



質問 2019年、現場で反対の声が大きい1年単位の变形労働時間制の導入を可能にするいわゆる「給特法」改正が強行された。東京都が条例制定すれば各自自治体において校長の判断で導入可能になるが、見解を伺う。

教育長 これまで教職員の労働条件の改善に向けて様々取り組んできた。1年単位の变形労働時間制については、今後、東京都教育委員会や

近隣自治体の動向を注視し、適切に判断したい。

質問 1年単位の变形労働時間制は、学校が忙しい月の労働時間を比較的忙しくない月で調整する仕組みなので、過労死ラインを超えたとしても超えていないことになってしまう。頑張っている先生方のためにも本制度は問題があると考えている。令和2年度の福生市の教員に当てはめて

試算した場合、過労死ライン超えの人数と割合はどう変わるか。

教育部参事 教員の在校時間から勤務時間と休憩時間を差し引いた時間を時間外労働時間とすると、本制度の導入は、時間外労働時間が月42時間、年320時間の範囲内であることが前提である。それを超える状況の場合は本制度を活用できないので、お答えは難しい。



人間と動物の共生について



正和会
石川 義郎 議員



質問 昨年9月定例会での風水害対策の質問では、ペットの避難所として福生地域体育館の一部を使用するとの答弁だったが、同館は現在新型コロナウイルスワクチン集団接種会場に使用中であり、避難所は本当に確保できるのか。

市長 同時使用することはなく、動線も分かれており、ペット受入れ可能だが、臨時的に他の場所を設定

するなど柔軟に対応したい。また、他の避難者とのトラブルも想定されることから、ペットの同行避難に関するガイドラインの作成に着手している。

ドッグランについて

質問 人間と動物が共生するまちづくりにおいて、ドッグラン設置の要望が高まっている。所見を伺う。

市長 設置には近隣住民の理解が大前提であり、その上で管理運営手

法や飼い主側のマナーなど新たなルールづくりと相応のスペースも必要。想定されるのは多摩川中央公園や福生南公園などの河川敷公園だが、市民に活用されておりスペースを確保することは難しい。また、公園以外に新たな土地の確保も現時点では難しい。現在、公園長寿命化計画や個別の維持管理計画の策定に向け検討中で、設置の可能性も研究していく。



▲福生地域体育館内のペット専用避難場所

女性の孤独・孤立を防ぐ体制について



公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 女性の諸問題に関わる部署は多岐にわたるが、女性の孤独・孤立を防ぐための市の所見を伺う。

市長 羽村市と共同で行っている女性悩みごと相談事業をはじめ、関係各所で相談事業を行っており、新たな行政課題やどの部署にも属さない問題等は各部署において組織の壁を越えて職員が連携し、できる限りの対応を図っている。窓口も秘書広

報課、協働推進課、社会福祉課、子ども家庭支援課など様々あり、声を上げやすいところに相談をしていたらと考える。今後も孤立する方が生じないよう、さらに一丸となって取り組みたい。

質問 相談先が分からないのが一番問題で、諦めや孤立につながりかねない。相談窓口の一元化のため、今後女性を専門に担当するような部

署等を創設する考えはないか。

福祉保健部長 本市の規模では、女性問題を一元的に解決する担当課を設置することは難しいが、福祉的な困りごとについては、社会福祉課窓口で断らない相談を実施している。今後、女性の方が利用しやすいよう相談窓口の名称等を工夫するなどし、必要に応じて関係部署や関係機関に繋げて支援してまいりたい。



▲女性悩みごと相談の案内カード

性的マイノリティーについて



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 令和2年12月議会で「性的少数者への理解や配慮を課題の一つとして取り組みを進めたい」との答弁だったが、半年後の現況を伺う。

市長 本年3月に福生市男女共同参画行動計画(第6期)を策定した。性的少数者に配慮した取り組みの実施に加え、多様性への理解の促進に多様な背景を抱える人々への理解を広く浸透させることで、それぞれ

が住みやすい社会を目指している。

質問 同性パートナーシップ制度を導入する自治体が増えている。予算も僅少で庁内手続きも簡単で当事者の不利益の解消、権利を向上でき、導入するべきと考えるが、見解は。

生活環境部長 今後も動向を注視していきたい。

土地利用規制法案の影響について

質問 国会審議中の重要施設周辺

及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律案について、見解を伺う。

市長 法律案の国民生活の基盤の維持並びに領海等の保全及び安全保障に寄与するという目的は、いずれも国の専管事項である。国が国の責任において、目的、関係自治体や住民への影響等について国民の理解を得て実施されるものと考えている。



▲福生市男女共同参画行動計画(第6期)表紙

福生市の定住化対策について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 人口減少に歯止めをかけるための定住化対策の本市の施策、また、賃貸住宅への家賃助成の考えは。

市長 優良な住宅地の供給が進むよう空き家等の除却助成金交付のほか、賃貸住宅の整備として耐震改修助成や子育て支援住宅整備事業、公営住宅の入居案内も実施。民間住宅では宅地開発や整備の段階で単身者向けワンルームマンションの居室を

25平方メートル以上とし、高齢者には家賃補助を実施。賃貸住宅への家賃助成は、総合戦略の方向性や公平性から実施予定はない。

コロナ禍における貧困問題について

質問 コロナ禍で困窮する世帯は増えているものと思われる。本市ではどのような対策を取っているのか。

市長 福祉保健部では、住居確保給付金について昨年度より失業のほ

か収入減も対象とし、条件緩和や期間延長、再申請での追加給付も実施。子ども家庭部では、ひとり親世帯の支援を中心に「ひとり親家庭等への臨時特別給付金給付事業」「ウェルカム赤ちゃん臨時特別給付金給付事業」等のほか、本年度は「低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業」も開始。今後も市民に寄り添った対応に努める。

小・中学校における政治に関する教育について



正和会
幡垣 正生 議員



▲選挙に関する授業の中での投票箱組立体験

質問 政治への無関心が投票率を下げているが、政治と無関係であることはできない。そのため教育現場での政治の勉強や選挙についての学びが大切と考えるが、現状を伺う。

教育長 文部科学省の学習指導要領では、小学校では6年社会科で民主権の考えの下、国や地方公共団体の政治が国民生活の安定と向上を図っていることを学ぶ。中学校では

社会科公民的分野の「民主政治と政治参加」で民主政治の発展に寄与しようとする自覚や自治意識の基礎などを学ぶ。また、市教育委員会では小学5・6年生を対象に福生市子ども議会を毎年開催し、政治に興味・関心を持つきっかけとなっている。今後も主権者教育を関連させ、民主政治の発展に寄与しようとする児童・生徒の育成を図りたい。

質問 教員たちに政治への理解を深めるために市議会を傍聴してもらえたらと考えるが、見解を伺う。

教育部参事 教員が議会の役割等について理解を深めることができ、有効な手立ての一つと考える。今後、社会科の教員や希望者を対象に傍聴を取り入れた研修を新たに企画したい。まずは校長や副校長、管理職候補者等を対象に試行したい。

新型コロナウイルス感染症に係る福生市議会の対応

令和3年第2回定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、次のとおり開催しました。

「飛沫防止パネル」を設置しました

・令和3年第2回定例会から議場及び委員会室に「飛沫防止パネル」を設置し、短縮していた一般質問の上限時間を変更しました。(30分→60分)

感染症予防策を講じました

- ・各階に消毒液を設置しました。
- ・発言中も原則としてマスクを着用することとしました。
- ・議場及び委員会室の窓や出入口を開放し換気に努めました。
- ・職員の出席を最小限にとどめました。

対策を徹底し、傍聴を再開しました

- ・マスク着用、手指消毒にご協力をいただきました。
- ・傍聴受付時の体調確認及び非接触型体温計による検温にご協力をいただきました。
- ・傍聴席の間隔を空けるため、議場の一般傍聴席を15席に削減しました。(通常は46席)
- ・傍聴席及び筆記具等の消毒を行いました。
- ・インターネット中継及び多摩ケーブルネットワークの放映をご活用いただくようご案内しました。



SNS

写真等も掲載しながら、見やすく、わかりやすい議会情報をお届けしています。

で市議会の情報を発信しています！



twitter



Facebook

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆採択

○建設アスベスト被害者補償基金制度の創設と全面解決を国に働きかける意見書提出を求める陳情書(3・1号)

委員会提出議案第1号

建設アスベスト被害者補償基金制度の早期実現と全面解決を求める意見書

アスベスト(石綿)を大量に使用したことによるアスベスト被害は、多くの建設作業従事者や国民に広がり、現在でも、建物の改修工事、解体工事に伴いアスベストの飛散が発生している。

建設現場でアスベスト(石綿)を吸い込み、肺がんや中皮腫などを発症した被害者とその遺族が、国と建材メーカーに損害賠償などを求めた訴訟は、2020年12月14日に最高裁第1小法廷が、国の上告を棄却しアスベスト被害訴訟判決が確定した。

今年で13年目となるいわゆる建設アスベスト訴訟は、全国の地方裁判所、高等裁判所で国の責任を15件連続で認めたと、アスベスト被害者が亡くなる事例もあり、早期解決を願う被害者や遺族の思いを看過することはできない。

よって、福生市議会は、政府及び国会に対し、専門医の充実と医療技術の進歩を図るとともに、アスベスト被害者補償基金制度の早期実現を強く要望する。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長)

ご利用ください市議会インターネット中継

パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも、市議会のインターネット中継を視聴できます。

「傍聴に行けない」「外出先から議会中継を見たい」という方にも、いつでもご利用いただけます。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像

◆利用方法

福生市公式ホームページ→「福生市議会」よりアクセス



福生市議会
インターネット中継

※本会議の録画映像をご覧いただけます。



議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

録画映像をご覧ください



ネット:生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	自民党福生	ネット	立憲民主党	議決結果
市長提出議案								
議案第31号	福生市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	令和3年度福生市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	令和3年度福生市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第36号	福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第37号	福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第38号	福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第39号	福生市表彰条例に基づく一般表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第40号	令和3年度福生市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	可決
委員会提出議案								
委員会提出議案第1号	建設アスベスト被害者補償基金制度の早期実現と全面解決を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決

令和3年
第2回
定例会

可決等された案件(要旨)

◎福生市手数料条例の一部を改正する条例

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律(いわゆるデジタル改革関連法)が制定され、その中で、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(いわゆるマイナンバー法)の一部改正されたことに伴い、個人番号カード(いわゆるマイナンバーカード)の再交付に係る手数料の規定を削除するもの。

マイナンバー法の改正により、マイナンバーカードの発行主体が地方公共団体情報システム機構(J-LIS)であることが規定されたため、カードの再交付に係る手数料は市の手数料として徴収せず、手数料の規定の削除や条項の繰り上げを行う。なお、マイナンバーカードの発行に係る手数料の徴収事務は、地方公共団体情報システム機構から市町村長に委託することができると旨が同法に規定され、カードの再交付は市が委託を受け、徴収する形となるため、手続的には変わらず、市民への影響はない。

◎令和3年度福生市一般会計補正予算(第2号)

厚生労働省令である家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、電磁的記録等に関する規定を整備するとともに、規定を整理するもの。家庭的保育事業者等が、記録、作成等を目的として書面で行うことが規定されている又は想定されるものについては、書面に代えて当該書面に係る電磁的記録により行うことができるよう規定を追加するもの。

新型コロナウイルススワクチン接種に際し、国が示す7月末までの高齢者接種完了を目的として、6月中旬からの市内医療機関における個別接種開始に向けた準備を行うに当たり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4506万5千円を追加し、予算総額を253億2987万7千円とするもの。

◎令和3年度福生市一般会計補正予算(第3号)

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金第3次交付分を活用した行政のデジタル化やテレワークの推進、公共施設等における無線LAN環境の整備、また、子ども・子育て支援交付金を活用した保育園・幼稚園等の感染症対策などを実施するに当たり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億8702万5千円を追加し、予算総額を255億1690万2千円とするもの。

歳入では、総務管理費が公共施設等無線LAN整備委託料、庶務系事務のデジタル化やテレワークの推進を図る庶務事務システム等導入委託料等で9799万6千円、児童福祉費が保育園・幼稚園・学童クラブ・児童館などの衛生対策に係る新型コロナウイルス感染症対策事業補助金及び衛生環境整備委託料で2445万6千円、戸籍住民基本台帳費がマイナンバーカード事務に係る事務補助金計年度任用職員報酬及び申請サポートシステム機器借上料で307万1千円の増額となっているほか、感染症の影響に伴う福祉センターや自転車駐留場、地域体育館の指定管理者休業等補償金等で社会福祉費、道路橋りょう費、保健体育費等が増額となっている。

◎福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について

教育長として、8年以上の長きにわたり市の発展に貢献された川越孝洋氏を自治功勞表彰するもの。

選挙管理委員会委員として、12年の長きにわたり市の発展に貢献された平田ヒロ子氏を自治功勞表彰するもの。

◎福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について

農業委員会委員として、12年の長きにわたり市の発展に貢献された石川恵一氏を自治功勞表彰するもの。

固定資産評価審査委員会委員として、12年の長きにわたり市の発展に貢献された竹田良昭氏を自治功勞表彰するもの。



福生市表彰式で表彰された方々

令和3年度福生市一般会計補正予算(第4号) 新型コロナウイルススワクチン接種に係る体制強化や、感染症の影響を受

農業委員会委員として貢献された石川泰広氏、町会長等として貢献された春日廣信氏、持田汎氏、森山榮二氏、森友利夫氏、鴨下修氏、社会福祉協力委員として貢献された田部井眞理子氏、細井利志子氏、交通安全推進委員会委員として貢献された中井健次氏、添田金三氏、保護司として貢献された中根喜美子氏、秋山克明氏、身体障害者相談員として貢献された山下一眞氏、消防団員として貢献された、現在もなお活躍されている関根孝将氏、加園直之氏、内堀洋則氏、森田達也氏、新型コロナウイルス感染症対策に資する防護服を寄附された有限会社ニッシンを一般表彰するもの。



けた世帯への経済的支援、地域経済の早期回復及び市民への生活応援に係る事業の実施に当たり、歳入歳出予算を補正する必要が生じたため、歳入歳出予算の総額にそれぞれ11億2764万4千円を追加し、266億4454万6千円とするもの。歳入は、国庫負担金の新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金、国庫補助金では、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金や生活困窮者自立支援事業及び低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に係る新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金のほか、プレミアム付商品券事業には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金と併せて基金繰入金も計上している。

委員会の審査から

建設環境委員会

6月8日及び11日に委員会が開催され、1件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、2件の陳情は1件が採択、1件が継続審査となりました。

●令和3年度福生市一般会計補正予算(第3号)(建設環境委員会所管分) 問 町会等活動支援事務について、購入予定の備品及び数量の内訳は。

答 ガスボンベ式発電機は16町会へ各1台、高座椅子は3町会へ各4脚、パイプ椅子は、2町会へ各4脚、折り畳みテーブルは、7町会へ各1脚、拡声器は4町会へ各1台、AEDは、4町会へ各1台を配備のため購入予定。



▶コミュニケーション助成事業を活用して購入予定のガスボンベ式発電機

問 ガスボンベ式発電機の使用目的は。

答 購入にはコミュニケーション助成事業を活用。事業内容は、住民が自主的に行うコミュニケーション活動の促進を図り、自治意識を盛り上げることを目指すもので、使用目的は、町会・自治会等の事業やイベント等である。

問 福生昭島地域の未来をつなぐ協議会負担金について、昭島市と連携をする理由は。

答 昭島市は商業を中心とした産業振興を展開しており、当市に隣接している自治体の中でも事業者の業態や規模感が近い。また、この協議会にアドバイザーとして参画する多摩信用金庫について、当市は地方創生に関する連携協定を交わしているが、昭島市でも同金庫と産業活性化支援に関する包括協定を交わしており、官民共同で事業に取り組める素地があり、こうした類似性から昭島市へ声をかけ、連携するに至った。

問 自転車駐車場管理事務の指定管理者休業等補償金について、減収分の補償をするとあるが、下半期の利用数はどのくらい減少したか。

答 利用台数は令和2年度が5万2142台で、前年度より4471台、7.9%減。定期利用は令和2年度が6066台、前年度より1445台、19.2%の減であった。

市民厚生委員会

6月9日に委員会が開催され、2件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は継続審査となりました。

●福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 本条例の改正による対象施設の運営、現場への影響は。

答 紙の記録だけでなく、パソコン等を活用したデータによる記録が可能となるが、従前より必要に応じてデータによる情報の取り扱いをしているため、運営上の影響は無い。



▶市内保育園でのパソコン等の記録を活用している一例

問 利用者への説明や同意等についても電磁的方法で対応ができる旨、本条例で規定されているか。

答 福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例で規定している内容である。今後、国の基準が改正された場合は、こちらを改正する。

●令和3年度福生市一般会計補正予算(第3号)(市民厚生委員会所管分)

問 個人番号事務の事務増員と職務内容は、また、マイナンバーカード出張申請サポートの内容は。

答 現在6名で7月から2名を増員し、8名とする。職務については、個人番号カードの交付に係る準備や窓口の受付及び個人番号カードの交付を行う。また、出張申請サポートについては9月にわかたけ会館、11月に福祉センターで、それぞれ日曜日に1回の実施を予定している。

問 福祉センター管理事務の指定管理者休業等補償金の算出根拠は。

答 福祉センター使用料の減収、喫茶たんぽぽの休業による減収、コロナ対策に伴う消耗品費の増額の合計と老人福祉センターの浴室休止による水道料金の支出減の差額により算出した。

問 保育所運営事業、病児保育事業、幼稚園教育

振興事業の新型コロナウイルス感染症対策補助金及び児童クラブ事業の衛生環境整備委託料の内容について、また補助金・委託料の手続きの流れとチェック体制は。

答 保育所運営事業においては、施設の定員などにより補助上限額が設定され、延長保育を実施している場合には追加補助がある。対象13施設のうち12施設が各75万円、1施設が60万円となっている。病児保育事業は病児保育室と病後児保育室の2施設に対し各30万円。幼稚園教育振興事業は市内の幼稚園4園に対して各50万円。児童クラブ事業の衛生環境整備委託料は、定員によって補助上限額が設定され、15施設が各40万円、1施設が50万円となっている。また、補助金や委託料は、国や都の実施要綱に照らし補助の対象となるかどうかをチェックし、購入後に再度確認作業を行う。

問 学童クラブの加配職員の資格や加配状況は。

答 加配職員は専門的な資格を条件としてはいないが、放課後児童支援員などの資格を有する経験豊富な職員を配置している。また、発達に課題がある子どもや障がいがある子どもの状況はそれぞれ多様であることから、障がいの重さに応じて職員の配置をしている。

総務文教委員会

6月10日に委員会が開催され、2件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

●福生市手数料条例の一部を改正する条例

問 今回、マイナンバーカードの発行主体となる地方公共団体情報システム機構(J-LIS)とは。

答 この組織は、地方公共団体が共同運営している組織で、地方公共団体の情報システムに関する事務や、その支援を行っている。令和2年度には国と地方公共団体が共同運営する方針となった。

問 マイナンバー再交付手数料800円の算出根拠は。

答 原紙やICカードの購入原価等カードの材料費を考慮した、国が示す再交付手数料相当経費を



▲マイナンバーカードの見本

基に決められている。

●令和3年度福生市一般会計補正予算(第3号)(総務文教委員会所管分)

問 庶務事務システム等導入委託料について、どのようなシステムか。また、その導入効果は。

答 庶務事務システムは、職員の休暇や超過勤務などの各種届出の申請及びその承認をシステム上で行うことができるもので、効果としては、庶務事務の効率化、ペーパーレス化、テレワークの推進が見込めるものである。

問 学力向上推進事業について、福生第六小学校が本事業校に指定されたが、選定理由について。

答 東京都教育委員会からの募集に対し、福生六小の校長から、教員の授業改善に取り組みたいとの申し出があった。

問 広報事務について、ライブ配信のための備品購入費となっているが、機器の内訳、配信方法についてどのようなものか。

答 購入機器は撮影用カメラ3台、編集用デスクトップ型パソコン2台、配信用ノートパソコン1台他ケーブル等を購入予定で、配信方法は福生市公式YouTubeチャンネル、福生市メディアラボを介して配信予定である。

問 情報システム管理事務について、テレワーク導入に向けた整備とな

議員表彰

全国市議会議長会では、議員として多年にわたり地方自治に功績のあった方を表彰しています。令和3年度においては、2名の議員が表彰されました。

議員10年以上

池田 公三 議員
町田 成司 議員

全国市議会議長会産業経済委員会委員として、会務運営の重責にあたられ使命達成に尽くされた功績に対し、感謝状が贈呈されました。

清水 義朋 議長

っているが、補正する部分の詳細等について伺う。
答 庁内ネットワーク接続回線の利用料3950万8千円、テレワーク用端末80台の購入及びセツトアップ費用1864万4千円、グループウェア更新費用1680万8千円が補正部分で、管理職のテレワークが可能となる。またセキュリティについては、シンククライアント端末の使用、通信回線には閉域網を使用してその確保を行う。

問 地域情報化推進事業について、19施設に無線LANを整備するがその導入時期とランニングコストは。
答 導入時期については令和3年11月から、同12月から、令和4年1月からの3段階にわかれており、ランニングコストは年間155万9千円を計上している。
問 歳入には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として1億5062万9千円があるがその活用方法、対象事業とその期間は。
答 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策やポストコロナに向けた経済構造の転換、好循環の実現などに該当する事業が交付対象となっている。期間は令和3年度中に実施する事業がその対象となる。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め7回開催されました。

特別委員会活動から：

横田基地対策特別委員会

6月11日に委員会が開催され、4件の議題について審査しました。

1 令和2年度防衛補助事業等実施状況について

①障害防止工事補助事業は、小中学校（六小講堂・三中講堂）の防音機能復旧（復機）事業など4事業を実施し、補助額は1億6274万8千円であった。

②民生安定施設整備補助事業は、防災行政無線（移動系）施設改良事業など3事業を実施し、補助額は1億458万3千円であった。

③特定防衛施設周辺整備調整交付金事業は、交付額6億1898万円を、防災食育センター維持管理等委託事業など5事業の基金に積み立てた。

2 令和4年度防衛補助事業概要について

令和4年度防衛補助事業概要では、中央図書館改良事業など全6事業を要望し、補助額の合計は、国庫債務負担行為による令和5年度実施分を含めて7億7318万5千円を見込んでいます。

3 横田基地周辺対策等要望事項（案）について

例年実施している防衛省本省及び北関東防衛局への要請行動について、新型コロナウイルス感染症対策のため訪問人数に制限はあるが、7月26日に市議会及び横田基地対策特別委員会を代表して正副議長、正副委員長が行うこととなった。

要望内容については、基地周辺対策の充実、市が概算要望している令和4年度防衛補助事業の採択、基地の運用に伴う安全確保の徹底、騒音防止対策の推進、地元産業活性化の促進など、全14項目について要望する。

4 横田基地に関する情報等について

①横田基地広報部から、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年の横田基地日米友好祭について延期し、来年5月に実施を検討しているとの情報提供があった。

②4月に人員降下訓練が

3回実施され、期間中、市民から4件の航空機騒音の苦情があった。

③5月下旬頃から約5か月の予定で、グローバル・ホーク6機が一時展開している。

④CV-22オスプレイの部隊が専用のに使用する施設の工事について、工期の予定が変更となった。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

6月11日に委員会が開催され、3件の議題について審査しました。

1 福生市における新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策本部会議が令和2年3月13日から計110回開催され、本市における感染症対策について、主な決定事項の報告があった。

また、本市における感染者数の推移や新型コロナウイルス感染症対策事業について報告があった。

また、本市における感染者数の推移や新型コロナウイルス感染症対策事業について報告があった。

また、本市における感染者数の推移や新型コロナウイルス感染症対策事業について報告があった。

また、本市における感染者数の推移や新型コロナウイルス感染症対策事業について報告があった。

また、本市における感染者数の推移や新型コロナウイルス感染症対策事業について報告があった。

また、本市における感染者数の推移や新型コロナウイルス感染症対策事業について報告があった。

また、本市における感染者数の推移や新型コロナウイルス感染症対策事業について報告があった。



▲委員会開催中の様子

基本事項として、ワクチン接種の位置づけは、予防接種法に基づくもので、厚生労働省、厚生労働大臣からの指示により市町村が実施主体となり実施されるものである。予約、接種の状況については、6月10日時点で、65歳以上の高齢者4608人の方が1回目の接種を、634人の方が2回目の接種を完了しており、高齢者の1回目の接種割合は30.14%、2回目の接種割合は4.15%であった。また、70歳以上の接種予約率は72%になっており、65歳以上のワクチン接種希望者は、7月中旬に接種を完了する予定とのことであった。

3 今後の本委員会の進め方について

調査研究の議題については、今委員会の意見等を参考に、各委員会において検討し、再度協議することとなった。

次回定例会のお知らせ

令和3年第3回定例会(予定)

- ◆本会議 午前10時開会 8月31日(火)~9月3日(金)・28日(火)
- ◆決算審査特別委員会 午前10時開会 9月7日(火)~10日(金)
- ◆常任委員会 午前10時開会 9月14日(火)~16日(木)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送るヒアリンググループを導入しています。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジラー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

編集後記

令和3年度、新たな人事のもと6月定例会が開催されました。コロナ禍でも、感染症対策を十分にに行い、議会を滞りなく運営することは、地方自治、民主主義の観点からとても重要なことです。

今定例会から、飛沫感染防止策としてアクリル板が議場や委員会室に設置されました。これまで、一般質問の中止や上限時間の短縮、文書質問などの対応を行ってまいりましたが、今回は通常どおり行うことができました。

また、新たに「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」を設置し、ワクチン接種はもちろん、各部署のコロナウイルス感染症対策に関する調査研究を行います。一日も早く市民が通常の社会生活を取り戻せるよう、全力で取り組んでいきます。

更に今後は、タブレット端末の導入が予定されています。紙の削減による環境への配慮はもとより、膨大な資料を持ち運びでき、議員力の向上だけでなく、行政と議員間の情報共有が容易になり、災害対応にも有効です。

コロナ禍においても一つひとつ丁寧に取り組み、新時代にふさわしい議会をつくりあげていきます。